調査・研修等計画届出書

令和7年1月20日

瀬戸市議会議長 様

議員名 冨田 宗一

<u>政務活動</u>として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期日	令和7年1月29日(1日)						
調査先・研修名	文部科学省にて 「学校給食無償化について」「部活動地域移行について」						
会場名 (会場所在地)	衆議院第二会館(東京都千代田区永田町2丁目2-1)						
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係 る瀬戸市・自己の現状と 課題を踏まえて)	1月29日 14時~15時 文部科学省 初等中等教育局健康教育・食育課 学校給食費無償化について、国の動向の進捗を確認し、課題 の共有をした上で今後の動向を再調査及び協議を行う。 1月29日 15時30分~16時30分 文部科学省 スポーツ局地域スポーツ課 文部科学省の進める、部活動地域移行の課題について、部活 動改革推進期間に本市は未着手の状況の為、今後の在り方に 繋げていく。						
議長名の依頼	要・不要						
同行者名	山内精一郎						

[※]行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 7年 2月 4日

瀬戸市議会議長 様

議員名 冨田 宗一

<u>政務活動</u>として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期日	令和 7年 1月29日 (1日)							
調査先・研修名	「学校給食費無償化について」「部活動地域移行について」							
会場名 (会場所在地)	衆議院第二会館(東京都千代田区永田町2丁目2-1)							
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係 る瀬戸市・自己の現状と 課題を踏まえて)	1月29日 14時~15時 学校給食費無償化については、令和5年8月以来の国の動 向の進捗を確認し、課題の共有をした上で今後の動向を再調 査及び協議を担当省庁と行う。 1月29日 15時30分~16時30分 部活動地域移行の課題については、本年までが部活動改革推 進期間としているが、本市は未着手の状況の為、先進事例を 聞くことで、今後の在り方に繋げていく。							

調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等

初等中等教育局の担当者(文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 課長補佐 関口直樹)の方から

「学校給食の無償化について」研修を行い、質疑、議論を活発におこないました。 一昨年、瀬戸市でも学校給食の無償化についての議論が交わされ、国の進む方向性 についての調査をしました。

(こども未来戦略方針)

こども・子育て政策の強化:3つの基本理念

子育ての経済的・精神的負担感や子育て世帯の不公平款が存在する。

学校給食費の無償化の実現に向けて、まず、学校給食費の無償化を実施する自治体における取組実態や成果・課題の調査、全国ベースでの学校給食の実態調査を速やかに行い、1年以内にその結果を公表する。

その上で、小中学校の給食実施状況の違いや法制面等も含め課題の整理を丁寧に 行い、具体的方法を検討する。

- ・1794 自治体中、775 自治体において何らかの形で令和 5 年度中に学校給食費無償化を実施している(予定を含む)
- ・令和5年9月1日時点で無償化を実施している722自治体のうち、547自治体で小中学生の全員を対象にし、145自治体で小中学校段階で支援要件を設けている。支援要件がある場合、多子世帯を要件にしている場合が多い。
- ・財源は自己財源(ふるさと納税、寄付金以外)が最も多く、次いで地方創生臨時 交付金を活用している自治体が多い

「部活動の地域移行について」

スポーツ庁と、文化庁の担当者(スポーツ庁スポーツ戦略官 大野雅史・文化長参事官(芸術文化担当)付学校芸術教育質参事官補佐 西尾佐枝子)の方から「部活動の地域移行について」の研修を行いました。

【学校部活動を取り巻く現状・課題及び改革の必要性】

少子化・人口減少の加速化

- ・学校数の減少、それ以上に進む少子化で**生徒数/学校はさらに小さく**なる。 運動部当たりの参加人数・運動部活動への参加率(中学生)
- ・1運動部あたりの参加人数は近年減少。運動部活動への参加率も近年減少傾向
- ○部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的 な整備
- ・地域の実情に応じた持続可能で多様なスポーツ。文化芸術を整備し、多様な体験機会を確保。
- ・少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保。学校の働き方改革を推進し、学校教育の質の向上。
- ・自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。

◎進むべき方向

- ・子供や大人、高齢者や障碍者の参加・交流を推進する地域スポーツ・文化芸術活動の中に部活動を取り組む。ウエルビーイングの実現、まちづくりの推進。
- ・「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、地域の実情 に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消。

調査先(主な質疑・応答内容) / 研修(受講後の感想)

「学校給食の無償化について」

一昨年、瀬戸市でも学校給食の無償化についての議論が交わされ、国の進む方向性 についての調査をしました。国の方でも全国の学校給食費の状況について調べてい るとのことで、今回、調査結果について、担当官と議論をしました。

給食無償化についての課題の整理

学校給食費の目的・目標は適切な栄養摂取による児童生徒の心身の健全な発達 や、給食を通じた食に関する理解や判断力の育成

結果的には保護者世帯の給食費の負担をもたらしてきた。

子育て支援や、少子化対策のための基礎的な給付が必要だと思われる。また、経済的な困窮世帯 14%については基本的には無償化されている。

そのほか、効果的な少子化対策のための無償化などの効果があると考えられる。 課題として、安定的な財源の確保が必須であり、全国的には 5000 億円がかかる と見積もられる試算において、国の方向性として、財源の問題、優先順位を検討し ていく。

また、これまで活用してきた交付金についてはコロナ交付金から始まっているからいつまであるのか分からない。

「部活動の地域移行について」

全国的に今後、中学生世代の少子化が進むことにより、学校の規模はさらに小さくなる傾向にあり、伴って部活動の構成人数や、種類も減っていくことになると予想される。実際調査していくと部活動に加入している生徒数は減っている。

反面、他校との合同部活動は増えていることから一つの学校から部活動が維持できないと考えられる。

少子化の進展によって部活動がやりづらくなっている。しかしながら、少子化が進む中でも、将来に渡り生徒が、スポーツや文化芸術活動に継続して親しむ環境を確保しなければならない。

調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

「学校給食の無償化について」

瀬戸市においても、給食費の完全無償化は求められているが、物価や、食材費の 高騰、財源の確保などまだまだ課題が多く今後も引き続き研究していくべき事案だ と感じました。

「部活動の地域移行について」

近年の働き方改革により、先生も部活動の指導がしにくくなっている。また、専門性のある先生が減ってきている。よって、地域全体に広げて支援していく。国内でも先進して取り組んでいる事例をいくつか紹介していただき、瀬戸市においてどのような方法が良いのか今後も研究が必要だと感じました。

- ・地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備
- ・指導者の質の保障・量の確保
- ・活動場所の確保
- ・活動場所への移動手段の確保
- ・生徒・保護者等の関係者の理解促進

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

	次に及事が10~30日はくに及事並とパグしていたとい。									
日付	出発駅	交通 手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費 運賃 特急#		通費 特急料金	等
7	瀬戸市駅	愛環	往復	高蔵寺駅	6.2	km	560	円		円
年	高蔵寺駅	JR	往復	名古屋駅	24	km		円		円
1	名古屋駅	新幹線	往復	東京駅	366	km	13,200	円	9,440	円
月						km		円		円
29						km		円		円
	宿泊先名称				TEL		宿	泊料	金	
日										円
備考欄										

23,200 円

日付	出発駅	交通	片道	到着駅	距離		交通費			
ניו ניו	山元朳	手段	往復	土川 相 刷 人			運賃		特急料金	等
						km		円		円
年						km		円		円
						km		円		円
月						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊	台料	金	
										円
備考欄										

0 円 小計

日付	出発駅	交通	片道	到着駅	距離		交通費		
ניו ניו	山光朳	手段	往復	土川 但 刷 人			運賃	特急料金	等
						km	F	9	円
年						km	F	9	円
						km	F	9	円
月						km	F	9	円
						km	F	9	円
	宿泊先名称				TEL		宿泊	料金	
日								田	
備考欄									
	_								

パック等による割引など	小	計
	円	

宿泊費 合計

交通費 合計

0 円

23,200 円

申請額合計 (宿泊費+交通費-割引代)

23,200 円

0 円